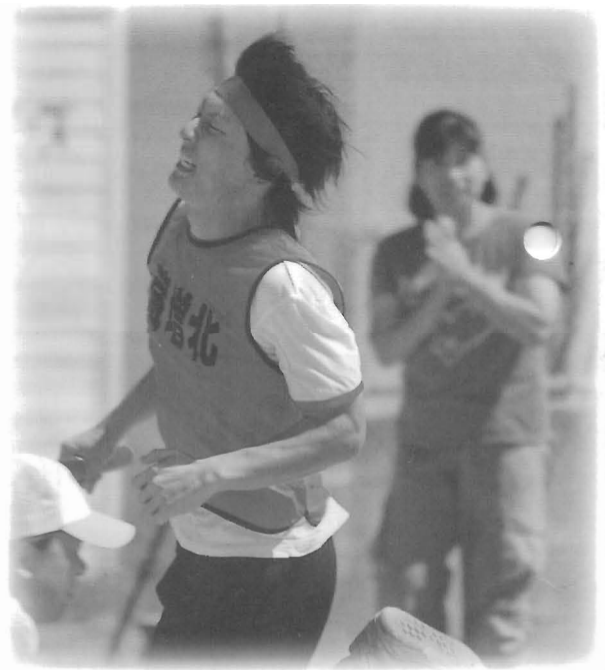


蔵増北青壮年会だより  
発行 第54号  
平成22年12月20日

# そらねん



発行人会長 森山美典  
編集委員長 土屋博明  
編集 機関紙編集委員会



見事なお家芸 男女混合リレー

**劇的 最終走者で逆転優勝**

地区レクリエーション大会 H22. 9. 5

# 地域と共に・それぞれの自分史

## みんなの笑顔で綴った「そうねん」合冊版

H22. 10. 10 出版



らの地域社会の息吹が感じられる仕上がりとなっている。昨年5月に設立30周年を迎えた同会の記念事業の一環、「そうねん」は1986（昭和61）年に会の活動を知ってもらおうと創刊した。多々も身近な情報紙として親しまれている。冊子はA4判モノクロの全419頁。巻頭の写真特集や関係者のあいさつはカラーで、24年分の全52号の合冊版とした。「積上成山」は「小さなものが積もって大きなものになる。小さな努力の積み重ねが立派な人間を形成する」という意味で、「地域と共に・それぞれの自分史」という副題も付けた。

ようやく皆様にお届けすることができました。会の活動はもとより、地域の多くの方が紙面に登場しておりますので、次のような視点からご覧なつても地域密着を感じることができると思います。

- ①子どもたちの成長  
今は立派な大人として地域を担うまで成長している方の小さな子ども時代の姿を伺うことができます。
- ②物故  
地域のために尽くしてくださりました先輩方の在りし日の姿を伺えます。
- ③風習  
八幡神社祭典の子ども神輿や、冬の風物詩御柴灯など、農村文化が記録されており、④各種団体活動 育成会、若妻会、



全ての皆さんに感謝 歴代編集委員長を囲んで昔を振り返る H22. 10. 15

## 24年の歴史ぎっしり 天童・蔵増北 青年会 機関紙の合冊版作る

天童市の蔵増北青年会（土成山「せきどやまをなす」森山美典会長）は、25年近く発行してきた機関紙「そうねん」をまとめ、合冊版「積上成山」を出版した。四半世紀に及ぶ地区住民の豊かな表裏の将棋大会の様子、人物紹介、

消防団、老人クラブなど地道な地域活動の記録が掲載されており、ほかに、地区レク大会は以前、点数を競う大会で、それに加えた応援団活動も活発で華やかでした。紙面づくりを見ても、創刊当初は桜井和男さんによ

る手書き文字と手書きイラストで大変味がありました。【編集委員の総力で制作した合冊版】この度の編集で一番困ったことは、版下作成の過程で、これまでの印刷物を新しい印刷物にする際、モアレといわれる格子状の縞模様が発現してしまう障害が発生したことでした。

◎山形新聞 広域版でも紹介(H22. 10. 29)

蔵増地域の中にある蔵増北は約150世帯あり、約600人が生活している。子ども会の子供なども紹介しており、住民のほとんどが紙面参加しているという。300冊印刷し、地区全世帯と市立公民館、学校などに無料で配布する。希望者がいれば相談に応じる。問い合わせは編集委員長土屋博明さん023（654）4642。



編集委員会では、こんな状態では皆さんにお届けすることはできないと話し合い、委員が手分けしてパソコンで一頁、一頁、解像度やコントラスト、諧調などを調整しながら版下を作り、

成果品に仕上げました。正直大変な労力を注ぎ込んだ手作りの記念誌です。地域の皆様、末永く保存して振り返っていただければ幸いです。（秋保栄記）



小原地区の牽仕で管理している芝生で、いい汗かきました。

## 森山会長 お見事ショット

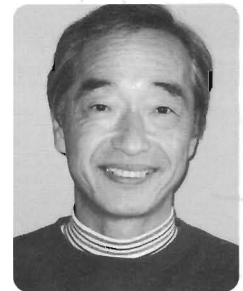
地区青壮年会パークゴルフ大会

蔵増地区青壮年会の大きな行事である第11回スポーツ大会が7月4日(日)開催された。この大会では以前、蔵増小学校グラウンドでソフトボールや、グラウンドゴルフ競技が行われてきたが、参加チームの減少で平成20年から小原S

RPでパークゴルフを行ったところ、大変好評だったので継続して開催されている。今年のサクラノボの収穫時期が遅れたことにより、昨年優勝の窪野目チームが欠場し、今年は優勝を狙う絶好のチャンスとみんな意気込みスタートした。前半は芝が濡れていたせいかボールが思うように走らず、後半は芝が乾いてきたので逆にボールが走りすぎ、ホールをオーバーしてしまい、なかなか力加減が難しい。そんな中、終始冷静な判断力と安定した集中力により3

アンダー(コースパー66)で森山美典会長がみごと個人優勝。団体ではチーム全員の合計打数で順位を決めることになったが、選手の数がまちまちであったので個人平均で順位を決めることになり、結果は平均475打差で残念ながら昨年を引き続き準優勝であった。

(土屋博明記)



還暦にして駆ける

北三区 能澤常也  
(昭和26年生まれ)

60歳の手

習いではないが、昨年よりランニングを始めた。所属チームは北青壮年会の「走遊会」。昨年は5kmの種目に2大会出場、今年10kmの種目で3大会に出場。来年60歳になったら、ハーフマラソン(21km)に挑戦したい。月に数回の合同練習を行い、各自の走力に合わせて、5km、10km、ハーフ(21km)を走る。決して他人との競争では無く、自分への挑戦である。

## じわんばれ年男

辛卯(かのと)年 新年の夢

先日、大会参加後の慰労会で飲んだ勢い余って、蔵増各地区選りすぐりの走り屋がエントリする分館対抗駅伝大会へ、「走遊会単独チームで参戦すつべ」と名乗りを挙げました。

しかし、しらふに帰ると我がチームの力量は残念ながら現時点では繰り上げスタートの恐れ有り。それだけは何とか回避するために作戦会議を開き、秘密の特訓を計画した。(飲みながらの話なので、どうなることやら?)

何はともあれ、仲間と元気で健康で仲良く楽しんで行きたいものである。

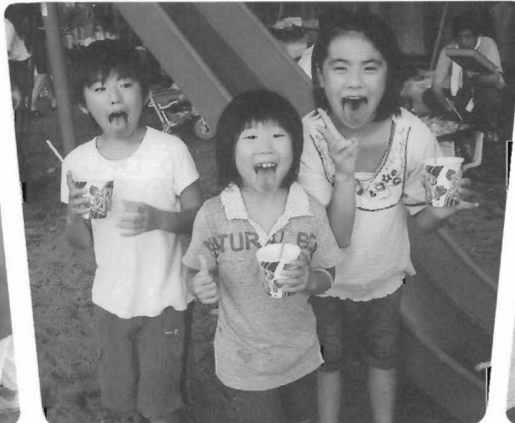


- 【昭和26年(1951年)】  
☆できごと  
・NHK第一回紅白歌合戦放送  
・マッカーサー鹿児島(帰国後「老母は死なす、ただ酒をゆくののみ」と語る)  
・日本航空発足(戦後初の民間会社)  
・日米安全保障条約締結  
・日本人初のプロレス試合(力道山)  
・ラジオ民間放送開始(現在の日本放送 毎日放送 TBS)  
・五百円札(官費員額)、五拾円札(高橋是清)発行  
☆流行パチンコトリスパーG-1刈り  
☆ことは社用旗 三重重役 親指旗  
・ノーコメント(分ロムイ)外相  
☆誕生 能澤常也 山本リンドカ カルメ・マキ 藤子 天地真理 浅茅陽子  
☆ヒット商品 明治ミルクチョコ 森永ミルクキャラメル 携帯テープ式録音機(東宝通信工業・現ソニー)  
☆歌 上海帰りのリル あさみの歌
- 【平成22年(2010年)】  
☆できごと  
・半蘭諸島沖で中国漁船と海上保安庁船衝突、証拠映像流出  
・北朝鮮、韓国東海上の延坪島を砲撃  
・大阪地検、FD証拠改ざん疑念  
・宮崎県で口蹄疫が拡大(大量殺処分)  
・113年観測史上最高の猛暑  
・チリ落石事故(33人が地下700mから570日振り、奇跡的生還)  
・無縁社会(所在不明高齢者)  
・小惑星探査機「はやぶさ」7年の役目を果たし、起死回生の帰還  
☆流行語 ・ゲゲゲの〜いい質問です  
ねえ、とこのいきました ・山ガール

# いきいき 笑顔いっぱい 2010 あの あの 感動 場面



△賑わいに欠かせない 母ちゃんのお店 22.8.8



△あっかんべ〜 夏まつり 22.8.8



△息を合わせて、ジャンプ 地区レク 22.9.5



△政美将棋部長は何でも達者 市リト 22.7.18



△走遊会選抜 公男さん激走 22.10.31



△秋の「いなほ路」を快走 駅伝三位 22.10.31



△パーカールクラブを作ろう 盛り上がる懇親会 (P.5 下記事)



△冬場は太平洋側の髭山(福島県)へ 野山会 22.11.28  
2010 (H22). 12. 20

1回戦	一	二	三	四	計
鶴親会	5	3	2	1	11
北	5	3	6	×	14



とられたら取り返す底力 猛暑の中、粘って勝利 (H22. 7. 18)

# 炎天下の熱戦

## 市連合ソフトボール大会三位

H22. 7. 18

第36回市連合青壮年会ソフトボール大会が連日猛暑の中、7月18(日) 16チーム参加のもと、2会場に分かれ開催されました。今年優勝カップが新しくなり、皆のモチベーションが高い大会となりました。初戦の相手は、鶴親会(田鶴町)。年齢合計も73歳と

お互い似たようなチーム。初回5点を失うと、その裏5点を返す。2回3点を失うと、またその裏3点を返す。取られたら取り返す。その後も粘り強くコツコツ点を取り11対14で勝利。2回戦はまたもや昨年もその前の年も敗れている千布青壮年会。今年は勝らな

いという強い思いが皆にあったが、頑張りも届かず3対11で2回戦敗退、3位という結果でした。終了後、北公民館で反省会。来年は優勝カップを前においしい酒を飲みましよう。選手の皆さん、大変お疲れ様でした。

(土屋忠治 記)

## 再び・日本海 棋力アップをめざして

将棋部 一泊研修



ホロ酔い気分も深酔いに、結局棋力の向上は?

今年の一泊研修は、晩秋の11月13日、3年振りに湯野浜温泉で行った。宿は「うしお荘」である。参加者は往年の部員5名で、今年の名で、今年

テーマは「再び日本海。棋力アップをめざして!」。宿に着くなり早速ビールで乾杯。やはりこれがたまらない。まずは身体を清めてからと日本海を望める温泉へ。(最高!)さっぱりした

ところで、さあ、合宿開始。お互い手の内を知り尽くした間柄。真剣な眼差いで盤上に集中する。今年、総当りの対戦方式とする。途中、グルメコースの豪華な夕食を頂いてエネルギーを十分に補充。しかし、夜が更け、激戦が続く、ホロ酔いも深酔いに変わる頃

脱落者がひとり、二人。結局最後は誰が勝ったのか? という訳で、今年の合宿も最後はよく分からず。分かたことは、身体の無理はもうできないですね、と悟りました。(悲しいかな)、

(土屋政美 記)

## 雨ニマケルコトモアル 遠野物語の早池峰山に行く

写真部フォトトレッキング

H22. 7. 10

今年の移動撮影会は、岩手県は早池峰(はやちね)山1917m。ここは柳田國男の遠野物語で有名な処。

朝からあいにく雨模様。環境保護の配慮か? シャトルバスで移動し、雨具を着て登り始めた。河原坊口は増水のため小田越口から入った。風が強く飛ばされそうであった。途中、早池峰薄雪草が咲いていて幸運だった。(帰っかあ、ひっこ



雨ニモ映工ル 可憐な山野草 (撮影 土屋久雄)



【竜門小屋】で酒交わす藤さんと遠藤さん（竜門小屋）

# 山の出会いを求めて

野山を歩こう会 今年もアクティブに

【竜門小屋（1580m）】  
7月24日（晴れ後、曇り）、  
4名参加。8時45分、日暮沢  
小屋出発、清太岩山を経て竜  
門小屋到着。ガスと強風のため  
寒江山はあきらめ、管理人

乗った高齢者達は（ツアーな  
ので？）頂上をめざすが、益々  
風が強くなり飛ばされそう  
で我らは勇断を以て退却。  
麓の町は晴れていた。純和  
風の老舗旅館で風呂に入り、  
近くを探索する。町は河童た  
らけ。さすが「遠野物語」

下山途中から雷が鳴り出し、  
足取りも早くなり、3時  
間20分で下山。水沢温泉  
で汗を流した。  
【神室山（1365m）】  
9月26日（晴れ）、3名  
参加。神室ダム奥の登山  
口を8時45分出発。12  
時過ぎに県境の稜線に出  
る。約1時間歩き山頂へ。  
小又山、栗駒山、鳥海山、  
月山、朝日などが一望で  
きた。仙台から来たお嬢  
さん方と食、べ物の交換を  
行い楽しい昼食時間を過

翌日は、名所5箇所周って  
1050円の共通券を買い、完全  
に観光モード。若い人は見かけ  
たが「おつちゃんツアー」は  
珍しい光景だ。  
楽しみにしていた早池峰山  
に再びの挑戦を誓い、岩手を  
後にした。（土屋久雄記）

## 自分との戦い そして爽やかな汗 走遊会

参加。各人の目標に合わせ、  
5km、10km、ハーフに分か  
れてエントリーした。  
気温は少し高めだが風はほ  
んど無く走りやすく、それ  
ぞれのペースで自分と闘いな  
がら、心地よい爽やかな汗を  
かき、全員完走した。帰りに

ごす。下山後、有屋のホット  
ハウスカムロで汗を流した。  
【加無山（997m）】  
11月6日（曇り）、2名参加  
登山口を9時25分出発。11  
時55分、挽割という稜線の鞍  
部に着く。岩壁と手つかずの  
自然が残る深山である。熊に  
出会わなくて良かった。下山  
後、新真室川温泉で汗を流し  
帰路についた。（佐藤春彦記）

\*\*\*\*\*

9月19日  
日に白鷹若  
鮎マラソン  
大会、11月  
7日に酒田  
市茂木杯マ  
ラソン大会  
に参加した。  
白鷹若鮎マ  
ラソン大会  
には7名が

## わたしの作品

《佐藤翠峰(俊彦)さん揮毫》

茨城 千葉 埼玉 山梨  
福島 岩手 宮城 群馬  
北海道 青森 秋田  
佐藤翠峰

今回は私が、  
書道を習うき  
っかけになつ  
た実用書を書  
いてみました。  
実用書とは、  
花の名前、カ  
タカナ、県名

や地名、宛名など、多種多様  
の書です。ふだん私たちが使  
っている文字を書くことす  
が、もちろん小筆で書きます。  
半紙半分サイズの書くの  
で非常に神経が疲れますが、  
実用書を上手に書けると普通  
の半紙に書いている時とはひ  
と味違う満足感を覚えます。  
もつと実用書を練習して、  
冠婚葬祭の時に必要な、熨斗  
紙、熨斗袋に書くことや、式  
典の際の記帳などでも上手に  
書けるよう、日々努力したい  
と思います。（佐藤俊彦）



【マラソン】を積み、爽やかな汗と充実の一日を過ごす

りんご温泉で疲れた身体をほ  
ぐし、充実した一日を過ごす  
ことができた。  
酒田市茂木杯マラソン大会  
には6名が参加。東北公益文  
科大学グラウンドをスター  
ト・ゴールで行われ、高低差  
があり、とても厳しいコース  
だったが、この大会も全員が  
完走することができた。いず  
れの大会も天候に恵まれ、走  
遊会に雨男はいないようです。  
11月から山崎稔さんが入  
会し、動機は現在の体重？kg  
を70kgまで下げたいとのこ  
と。あまり無理せず目標達  
成してもらいたい。  
今シーズンの大会は終了し  
ましたが、来期に向けて引き  
続きトレーニングを積み重ね  
ていきます。（山崎進記）

# この人



栄さんは、奥さんと母親と、犬1匹で暮らしている。娘さん2人は既に家から巣立っており、

今は犬のものが、会話の少ない小家族を和ませてもらっているという。

仕事は市役所に勤務し、38年、あと3年で定年を迎えるそうです。

初仕事に就く折、母から「どなたの仕事でも嫌がらずにすんなね」と教えられたことを今でも忘れないと語る。「技術系の仕事柄、イメージしたものが納得のいく形となつて姿を現し、市民の方々から喜んでもらえるのが一番嬉しい。地域でも身近にいる市職員として出来ることはお役に立ちたい」と言う。青壮年会には昭和58年、29歳で入会。「当時は、近所の先輩方が、お、いぐべえ」と玄関先まで迎えに来てくれ

## 地域の友人と

### 一生の付き合いを

で、酒の場でも温かく可愛がってもらった」と振り返り、「そういう意味では、今の若い人たちも世代を超え、融合した関係が創れば、人が人らしく交流のできる地域になる。青壮年会活動を通して、かけがえのない、これからもずっと付き合い合っている仲間づくりができるから」と語ってくれました。

「好きな言葉は『感謝』人との出会いがあり、自分を成長させてもらった。だから、少しでも恩返しをしていきたい」、また、これからは、「四季を感じ、畑仕事や好きな機械いじりなどをしながら、スローな生活を味わいたい」と話してくれました。

最後に、  
長年機関紙  
編集委員長  
(現常任委員)として活躍  
してこられた栄  
さんには、今後  
も更なる御尽力  
を賜るようお願い  
しています。  
聞き手 土屋忠幸

秋保 栄さん  
北2区 昭和28年生まれ

## 人として 持つべきはモラル

ゴミゼロ運動

相変わらず、ごみを捨てる不届き者が後を絶たず、不快感をお持ちの方が多いと思います。高速道路開通以来、アンダーボックスなどにごみの不法投棄が相次ぎ、必要により我々役員たちで清掃をしています。

今回は、青壮年会の三役が10月31日(日)早朝に堀端公園から高速道路まで、道路沿いのごみを拾いながら、倉津川坊小路橋付近と高速道路下の二カ所に「ごみ捨て禁止」の看板を設置しました。少しでも抑止効果が上がればと思います。(土屋博明 記)



## これからの行事

- ◎ 1月16日(日) 北区新春麻雀大会(北公民館)
- ◎ 1月23日(日) 地区青壮年会レクリエーション大会
- ◎ 2月6日(日) 分館對抗冬季レクリエーション大会
- ◎ 2月11日(水) 祝日
- ◎ 北区新春将棋大会
- ◎ 2月20日(日) 市連合ボウリング大会・将棋大会
- ◎ 2月27日(日)
- ◎ 北青壮年会22年度総会

## コーヒータイム

▽6年ぶりに奈良県に行つた。奈良市は平城京遷都1300年で賑やかだった。

明日香村もまた賑やかであった。6月なので飛鳥板蓋宮跡から飛鳥寺へ向かう農道のまわりは田植えが終わっていた。聞くところによると、遺跡と景観を保存するために水田を作っているそうである。その苦勞もさることながら水田はこのような役割もあるのだと再認識した。(佐藤寛彦)

▽今年から、また編集委員に返り咲いた後藤です。去年までの会長在任中は青壮年会活動に御協力いただきありがとうございました。さて、会長を辞めて少しは楽隠居しようと思っていたら隣組長と衛生委員に就任しました。特に衛生委員は4月からの制度改正により思っていた以上に大変です。会員の皆様は、あまりごみ出しはしないと思いますが、ごみの分別についてよろしく御協力をお願いします。(後藤寛彦)



J1 3年目 いくぞ! Top10  
がんばれ 俺たちのモンテ



表紙題字 書道部長 佐藤俊彦(俊彦) 書

編集委員

委員長: 土屋博明・常任委員: 秋保栄, 山崎昭夫, 土屋久雄

区選出委員: 1区 後藤寛彦, 2区 土屋忠幸, 3区(兼) 土屋博明

部選出委員: ソフト部 土屋忠治, 将棋部 土屋政美, 麻雀部 熊澤常也, 書道部 佐藤俊彦, 写真部 大木寛雄, 野山を歩こう会 佐藤春彦

走遊会 山崎進, パソコン愛好会 森山典典